

# リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

はまぎんホール ヴィアマーレ

会 期

2025年3月8日(土)  
9日(日)

## 第17回 静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders) 講演記録集

### － プ ロ グ ラ ム －

■岡田正メモリアルレクチャー

「General surgeonとして歩んだ36年を振り返って  
－患者さんにベストを尽くし、臨床研究も－」

■JAN・VIC 演題

■リーダーズ演題Ⅰ(症例検討)

■リーダーズ演題Ⅱ(薬剤師、小児)

■リーダーズ演題Ⅲ(リハビリテーション)

■リーダーズ演題Ⅳ(管理栄養士、高度の栄養障害)

■リーダーズ演題Ⅴ(小児)

■ランチョンセミナー

「最期まで自分らしく ～慢性期病院から社会を変えたい～」

# プログラム

## 3月8日(土)

11:30～11:35	<b>開会のご挨拶</b> 当番会長：北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科)
11:35～12:20	<b>岡田正メモリアルレクチャー「General surgeonとして歩んだ36年を振り返って 一患者さんにベストを尽くし、臨床研究も……」</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演 者：木許 健生(大阪府済生会 茨木病院 外科) 共 催：森永乳業クリニコ株式会社
12:25～13:40	<b>JAN・VIC演題</b> 座 長：吉川 正人(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科) 林 泰生(杉田玄白記念公立小浜病院 外科) <b>口演J-1</b> 当院におけるPICCの現状 ～留置後の管理と特に高齢者の転帰に関する問題～ 野呂 浩史(市立芦屋病院 外科、NST) <b>口演J-2</b> 地域中核病院でのPICC留置の現状と手技の工夫 中原 未智(長崎県島原病院 看護部) <b>口演J-3</b> 遠位大腿静脈穿刺法における穿刺留置困難例に対しての工夫 ～Nipro社製 長径のシースイントロドューサーの使用経験～ 目黒 英二(函館厚生院 ななえ新病院 内科) <b>口演J-4</b> 当院におけるPICC挿入患者の抜去理由分析から考える、挿入中の管理 田村 委子(国立病院機構 別府医療センター) <b>口演J-5</b> 医師主導のCVカテーテルドレッシングと輸液ライン管理教育がCRBSI発症に及ぼした影響についての検討 八田 秀平(大阪府済生会 茨木病院 外科)
13:40～13:50	<b>総会</b>
13:50～14:30	<b>企業PRプレゼンテーション、企業展示</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 森永乳業クリニコ株式会社、ニュートリー株式会社、藤本製菓株式会社、ニプロ株式会社
14:30～15:50	<b>リーダーズ演題I(症例検討)</b> 座 長：小川 哲史(高崎総合医療センター 外科) 北出 浩章(関西医科大学総合医療センター 肝胆膵外科) <b>口演I-1</b> アルコール性肝硬変・Af治療自己中断を背景とした心原性脳塞栓症患者に対する栄養管理の1症例 田中 晴香(医療法人青仁会 池田病院 栄養科) <b>口演I-2</b> NST介入した褥瘡に対する栄養管理の1症例 松井香代子(医療法人青仁会 池田病院 栄養科) <b>口演I-3</b> 単形性上皮肉性腸管T細胞リンパ腫(MEITL)から小腸穿孔、術後難治性の下痢をきたし、 栄養・体液管理に難渋した1例 山本 壮(関西医科大学 栄養サポートチーム、胆膵外科) <b>口演I-4</b> 栄養療法を中心とした支持療法を含む集学的治療によりQuality of Lifeを保ちながらの 長期生存を得ている高度進行胃癌患者の一例 秀村 晃生(関東労災病院 外科) <b>口演I-5</b> 化学放射線治療開始前にPEGを施行し、栄養管理を行った高齢者胸部食道癌の一例 林 泰生(杉田玄白記念公立小浜病院 外科)
16:00～17:00	<b>リーダーズ演題II(薬剤師、小児)</b> 座 長：林 宏行(日本大学 薬学部) 山内 健(佐賀県医療センター好生館 小児外科) <b>口演II-1</b> 薬学教育に組み込まれた「栄養治療」 島田 雅彦(国家公務員共済組合連合会 三宿病院 薬剤科) <b>口演II-2</b> 脂肪乳剤の側管投与はなぜ回避され続けるのか 佐々木 集(札幌徳州会病院 薬剤科) <b>口演II-3</b> 小児の栄養ケアをめぐる課題 高増 哲也(神奈川県立こども医療センター 地域保健推進部) <b>口演II-4</b> 自閉症の偏食の特徴と対応について 田上 幸治(神奈川県立こども医療センター 総合診療科)
17:00～18:00	<b>リーダーズ演題III(リハビリテーション)</b> 座 長：田中 誠(医療法人青仁会 池田病院 外傷センター) 森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 内科) <b>口演III-1</b> 高齢大腸がん患者における術後リハビリテーション栄養の効果について 奥 和晃(枚方公済病院 栄養科) <b>口演III-2</b> 脳出血、褥瘡、リハビリを考慮した栄養管理を行った症例 園田 絢加(医療法人青仁会 池田病院 リハビリテーションセンター) <b>口演III-3</b> 「口から食べる」と「誤嚥性肺炎」 嚥下訓練で2つの相反する問題点を同時に成立させるためにどうするか 高田 俊之(尼崎だいもつ病院 内科・リハビリテーション科) <b>口演III-4</b> 回復期リハビリテーション病棟における体重変化とADL利得の関係 平岡 繁典(総合犬山中央病院 リハビリテーション科、藤田医科大学 リハビリテーション医学I講座)

## 3月9日(日)

8:45 ~ 10:45	<b>リーダーズ演題Ⅳ(管理栄養士、高度の栄養障害)</b> 座 長：栗山とよ子(福井県立病院 内科) 木許 健生(大阪府済生会 茨木病院 外科) <b>口演Ⅳ-1 病棟担当管理栄養士の活動について</b> 大室 美紀(埼玉医科大学国際医療センター 栄養サポートチーム、栄養部) <b>口演Ⅳ-2 管理栄養士病棟常駐による栄養管理体制がもたらす看護師連携と臨床栄養教育への効果</b> 花岡麻里子(西宮協立脳神経外科病院 栄養科) <b>口演Ⅳ-3 終末期高齢者に対する点滴管理について</b> 関口 翠(訪問看護ステーション トータルケア) <b>口演Ⅳ-4 在宅療養癌患者のHPN期間と中止理由の検討</b> 杉本 由佳(すぎもと在宅医療クリニック) <b>口演Ⅳ-5 当院精神科入院患者におけるrefeeding syndromeハイリスク症例の状況と、栄養管理方法</b> 鈴木 香南(福井県立病院 栄養管理室) <b>口演Ⅳ-6 リフィーディング症候群再考：重度栄養障害そのものの病態との関連</b> 松永 秀典(大阪急性期・総合医療センター 精神科) <b>口演Ⅳ-7 入院時にVTを繰り返しCPR施行したBMI9.7の低栄養患者の栄養管理</b> 安田里香子(東京医科大学八王子医療センター 栄養管理科)
10:55 ~ 12:15	<b>リーダーズ演題Ⅴ(小児)</b> 座 長：北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科) 増本 幸二(筑波大学 医学医療系 小児外科) <b>口演Ⅴ-1 幼児期の胃瘻栄養から経口摂取への移行に多職種で介入した一例</b> 斎藤 美月(神奈川県立こども医療センター 栄養管理科) <b>口演Ⅴ-2 中心静脈栄養管理による鉄過剰に対する微量元素製剤中止により、銅・亜鉛欠乏を呈した超短腸症候群の一例</b> 盛島 練人(神奈川県立こども医療センター 外科) <b>口演Ⅴ-3 長期TPN継続中のHypoganglionosisの1例における脂質代謝に関する検討</b> 山内 健(佐賀県医療センター好生館 小児外科) <b>口演Ⅴ-4 血漿シトルリン値は小児短腸症候群におけるテデュグルチドの治療効果を反映するバイオマーカーとなるのか？</b> 佐々木理人(筑波大学 医学医療系 小児外科) <b>口演Ⅴ-5 腸管リハビリテーションによって在宅中心静脈栄養法から離脱できた3例の短腸症候群</b> 白井 秀仁(神奈川県立こども医療センター 外科)
12:25 ~ 13:15	<b>ランチョンセミナー「最期まで自分らしく ～慢性期病院から社会を変えたい～」</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演 者：飯塚 堯(医療法人社団 賢仁会 沼津はまゆう病院) 共 催：ニプロ株式会社
13:15 ~	<b>次回学術集会のお知らせ、閉会のご挨拶</b> 第18回当番会長：野呂 浩史(市立芦屋病院 外科) 第17回当番会長：北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科)